

# 有機農業技術のつぼ

【NO. 4】

作物名	にんじん
対応技術の項目	除草技術
	物理的防除法
	機械除草

## 《情報収集先の経営概要等》

安平町 小路 健男 経験年数22年（うち有機年数22年）  
 経営耕地面積 4.35ha（全面有機）  
 水稲 0.65ha ごぼう 0.50ha  
 ばれいしょ 0.75ha ヤーコン 0.25ha  
 にんじん 0.70ha その他野菜 0.20ha  
 かぼちゃ 0.65ha 緑肥 0.25ha  
 長いも 0.40ha 採卵鶏 400羽  
 労働力 2.4人（内、雇用0.4人）  
 有機JAS認定の取得状況（H13年取得）

### 問題点

除草作業に多くの労働力を費やすため、規模拡大が困難であった

- 労働力の制約上、20a以上の面積拡大が困難

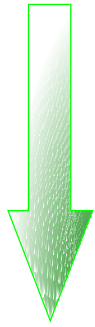
### 対応

除草機を導入

つぼ

- は種後、出芽前に除草する
- 出芽後、にんじんの草丈が15cm～20cm程度まで伸長するまでの間、「魔法のカルチ」（キュウホー株間除草機）で、7日～10日間隔で3回、株間を除草するとともに、畦間に残った雑草を「けずっ太郎（ロングホー）」で7～10日間隔で2回～3回、除草する。
- 手取り除草（畦間、株間）は2回程度行う





※ 対応技術活用上の注意点

- ・ 透排水性の良いほ場であることが前提
- ・ 土壌に土塊が多いと株間除草が不十分となるため、碎土を良くし、さらに均平をとる。(ロータリー耕起後、代かきローターで碎土を実施)
- ・ 畦がまっすぐになるようには種する
- ・ 雑草が大きくなるうちに(最大でも雑草の子葉展開期まで)株間除草を行う。(7~10日間隔で)

成 果

除草の省力化・効率化により作付面積・収量が増加した

□ 導入前	作付面積	20a	→	導入後	70a
	単位収量	2,000kg/10a	→		3,500kg/10a

【参考】

○にんじんの除草技術

「魔法のカルチ」(キュウホー 手押し株間除草機)

